

13. アセスメントポリシー

13.1 福山平成大学アセスメントポリシー

ディプロマポリシーに明示した学生の学修成果を測定・把握し、教育成果の検証および各種プログラムの改善に資するため、以下の方針に基づいて学修成果の評価を行う。

1. 評価基準

学修成果は、ディプロマポリシーに示す各能力の修得状況を基準として評価する。なお、具体的な評価領域は次の通りである。

- (1) 知識・理解
- (2) 技能
- (3) 態度・志向性

また、大学全体の教育活動を数値化して、学修成果の達成状況を評価し、時間的変化を測定する。

2. 評価方法

学生レベル、学科レベル及び大学レベルの各段階で、次に示す評価項目について総合的・多面的に評価する。

(1) 大学レベル

建学の精神、教育理念、人材育成の目標の理解・到達度を確認する。入学時アンケート、在学生アンケート（学生生活アンケート）、アセスメントテスト、卒業時アンケート、既卒者調査などから、アドミッションポリシーに基づく入学者状況や大学全体の活動を通じた学修成果の達成状況を評価する。

(2) 学科レベル

学位プログラムとしての学修成果の達成状況を評価する。学科のカリキュラムポリシーに基づくカリキュラム実施による卒業論文の成果を含むディプロマポリシーの達成度、免許・資格の取得状況、就職状況、インターンシップ参加状況、留年率、学位取得率等を評価する。

(3) 学生レベル

学生個人の学修到達度を、ディプロマポリシーに示す各能力の修得状況をポートフォリオに学年毎に記録することにより、継続的に評価、確認する。